

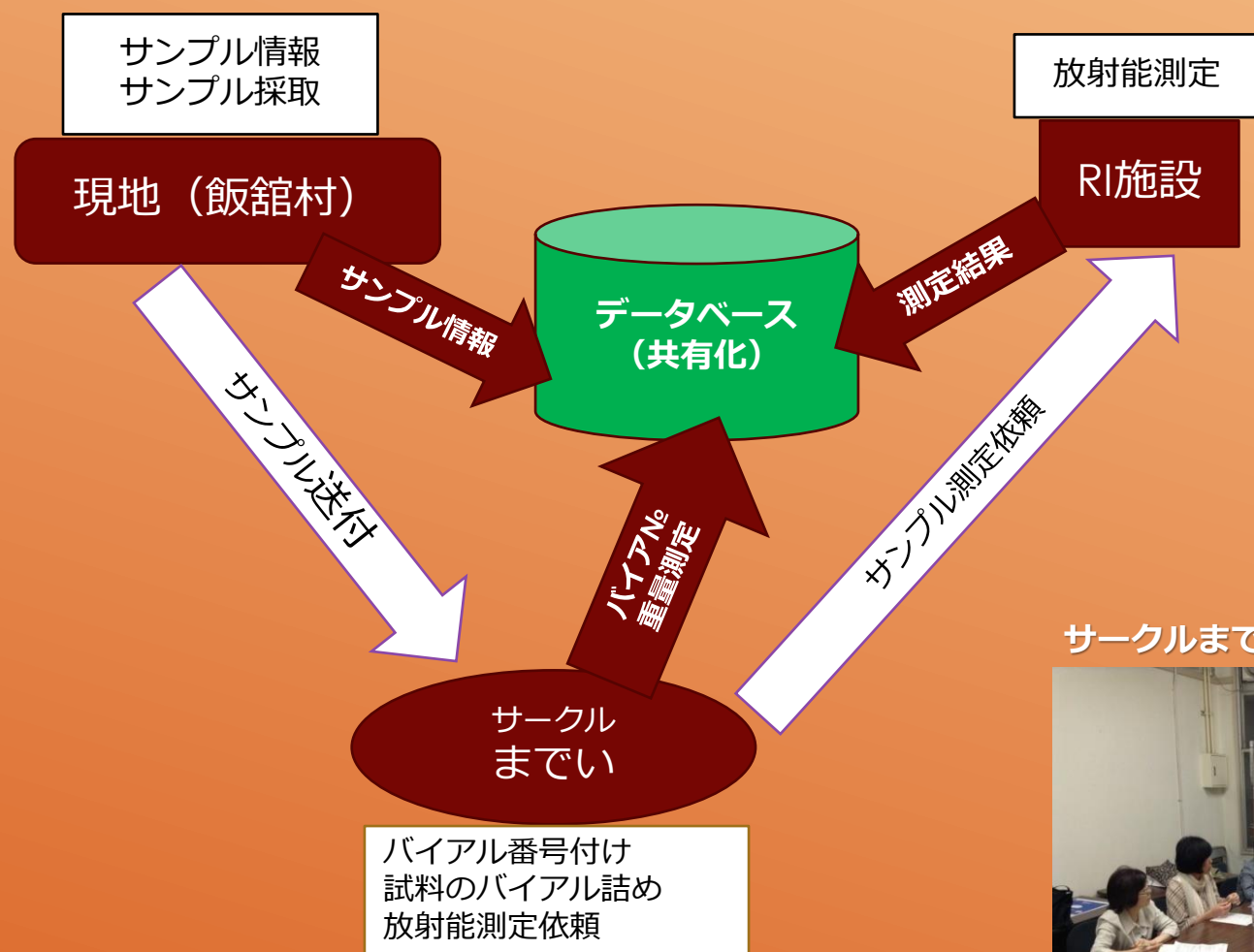
サークルまでの活動

「サークルまでい」は2012年11月から、東大の教職員・学生が中心となり「ふくしま再生の会」のメンバーと共に、飯舘村再生を支援する活動を大学内のサークルとして行っています。

飯舘村で採取した土壌(田圃、畑、イグネ等)、植物(野草、コケ、山菜、野菜、木の実等)、動物(猪、猿、ねずみ、キジ等)や試験作付米など、あらゆる試料のサンプル作成を行い、農学生命科学研究科 放射性同位元素施設(RI施設)の研究者に放射能測定を依頼し、そのデータを蓄積してきました。現在、そのサンプル数は19,000点を超えています。

福島第1原発事故により飯舘村ではあってはならない未曾有の被害を受けました。その被害は甚大で、言語に絶するものです。私たちはその飯舘村で何とかして本来のまでいな生活を取り戻そうとして模索している村民の方々と共に考えていきたいと思っています。

データベースを活用した放射能測定の流れ (帰村後及び、帰村を考える上での生活環境情報支援)



サークルまでい室



サークルまでい勉強会の様子



農学部広報誌で紹介



粃米の乾燥状態を観察



粃摺り・玄米サンプルの作成



RI施設のNaI放射能測定器

